



笠間焼作製風景

茨城県ニュース No.30

※音声欠け

- ・逆水門着工
- ・伸びゆく地方産業—笠間焼—ほか

昭和35年度(1960年5月頃)

制作:茨城県秘書公聴課

■逆水門の工事はじまる—常陸川—

・昭和34年2月に着工した常陸川水門(通称:逆水門)の工事風景。重機による土砂の運搬や基礎工事が行われている。

1960/--/-- 神栖町(現・神栖市)

■海鵜の渡来地—川尻海岸—

・横一列に群れを組む海鵜。北茨城市の二ツ島に巣を作る海鵜。海鵜の捕獲風景。

1960/--/-- 日立市、北茨城市

■農村にひろまる簡易水道

・水道整備工事風景。ヒューム管を金具で繋ぎ、側溝に埋める。ポンプの整備。各家庭で蛇口をひねる子どもたち、台所風景、風呂場。

1960/--/--

■更生した身体障害者たち

・昭和35年に水海道市(現・常総市)に創業した、株式会社日本アビリチーズ社のダンボール箱製造風景。従業員らの休憩時間の風景。

1960/5/-- 水海道市(現・常総市)

■伸びゆく地方産業—笠間焼—

・笠間市街全景。ろくろを回す職人。絵付け作業。藁を使った梱包作業。

・応力検査。陳列される完成品。

1960/--/-- 笠間市